



ひたちなか健歩の会

会報

ひたちなか市ウォーキング協会

発行者: 大越 康孝
編集責任者: 河合 視己人

1月の例会便り

第214回例会の「那珂湊_天満宮・四郎介稲荷初詣ウォーク」は、1月7日(日)に開催され、会員18名、一般14名の計32名の参加者がありました。寄稿文のとおり、新年のお年玉として全参加者に湊線フリー切符がプレゼントされ、皆さんの笑顔が見られました。

今回訪れた四郎介稲荷神社は、漁業の街・那珂湊の守り神として旧那珂湊市湊中央に祀られた、四男狐の神社と言われています。それに関わる「四匹のきつね」伝説の那珂市歴史民俗資料館の資料の抜粋は次のとおりです。

『大昔、静(那珂市瓜連)の青木山に源太郎、甚二郎、紋三郎、四郎介という四匹の兄弟狐がいた。源太郎狐は瓜連城(那珂市瓜連)で川を、甚二郎狐は米崎城(那珂市本米崎)で野を、紋三郎狐は笠間城(笠間市 笠間)で山を、四郎介狐は湊城(ひたちなか市湊中央)で海を、それぞれ守り、それぞれの郷土の稲荷神社として祀られている。』

第214回例会「四郎介稲荷・天満宮 初詣 W」に参加して

1月7日(日)32名が年初めのウォーキングをスタートしました。出発前の開会式にはいつものようにひたちなか海浜鉄道の吉田社長の「新年おめでとうございます。この高田の鉄橋駅にこのようにたくさんの方がお集まりになったのは健歩の会の皆さまがはじめてでございます」との激励のあいさつを頂いた後、出発しました。じっとしていると体を突き刺すような冷い風も歩き出すとあたたかくなり調子が出てきました。

名平洞には見慣れた白鳥の姿がないことを心配しながらも、那珂湊駅を經由し天満宮に初詣。学問の神様と言われている菅原道真との関係などの説明を聞き、お参りをしました。

住宅地の中にある四郎介稲荷では神職の装束、白のお召しものに水色の袴に身を包んだ宮司さんは伝説の四匹のきつねのお話を丁寧になさり、一番末の四郎介狐は湊城の稲荷神社の守り神とされ湊一帯を襲った大火から村人を守った話をされました。また、はじめて見学した本殿裏手の狐の通り道の穴の説明もあり、その興味深い話に「へえ～ここから狐が出入りしたのかねえ」と不思議そうに見入っていました。

ひたちなか市役所那珂湊総合支所の裏手の湊八景和田帰帆、水戸八景水門帰帆からの展望は絶景でした。

「しおかぜみなど」で一休みし、殿山駅まで歩き約8kmを完歩しました。

新年のプレゼントの湊線フリーきっぷに満足の日でした。
(武藤 きよ子)



<四郎介稲荷にて>

<文芸コーナー> ~多くの皆様のご投稿をお待ちしています~

<川柳> ・ 髪の毛よ抜けた分だけ生えてこい (K.S.)

<川柳> ・ 孫が来た風呂の順番じいじビリ (T.K.)

<短歌> ・ 自分だけのプラス1探すこと「辛」に一本足せば「幸」なり (M.K.)



第 214 回例会のスナップ



<出発式で吉田社長ごあいさつ>



<高田の鉄橋駅と市街地をつなぐ田んぼの中の道に行く>



<名平洞 白鳥の姿はない>



<天満宮で解説を聞く>



<天満宮に参拝>



<四郎介稲荷の正装の宮司さん>



<四郎介稲荷の拝殿前で解説を聞く>



<解散式でクールダウンストレッチ>

事務局からのお知らせ

1. JWA・IWA・HWA(日本・茨城県・ひたちなか市各スポーツ協会)関連情報

(1) HWA 関連情報

(今月は特になし)

(2) IWA 関連情報

①IWA 協力行事の紹介

・古河まぐらがの里花桃ウオーク 2024年3月23日(土);同封案内チラシを参照願います。
(事前申込みのみ、当日参加申込みは不可) スタッフ参加:大越、青木

②IWA2024年度行事予定

- ・4/21(日) かすみがうらマラソン大会ウオーキング
- ・6/2(日) 第17回つくば国際ウオーキング大会
- ・9/7(土) 第7回日本でここだけ!3県&5県ウオーク



2. 事務局関係情報

(1) 会報一部誤記についてのお詫び

会報1月号の、近隣団体からの情報のうち、第五事業部の「板橋不動尊とHRを巡るW」の開催日1/13(土)のところ1/10(水)と誤記がありました。申し訳ありませんでした。

<おめでとう!記録認定者の紹介>

- ★IVV 距離 15,000km:座間 秀夫さん
- ★IVV 回数 100回;松本 勝男さん
- ★スーパーマスターウォーカー:座間 秀夫さん・座間美紀子さん

定例会等のご案内

【コロナの基本的感染対策は、状況に応じて各自の責任で継続をお願いします】

第215回 ひたちなか市_佐和駅から東海村 歴史と未来の交流館 ウォーク

1. 期 日 : 2024(令和6)年2月25日(日)
2. 距離・認定 : 9km/団体歩行・ヘルスロードNo.236・237
3. 集 合 : 佐和駅西口9:00
4. コー ス : 佐和駅→佐野運動ひろば→笠松運動公園→船場稲荷神社・東海十二景(稲荷社杉風)→歴史と未来の交流館
5. 解 散 : 歴史と未来の交流館 12時15分頃

第216回 日立市_赤羽緑地公園・水芭蕉 ウォーク

1. 期 日 : 2024(令和6)年3月23日(土)
2. 距離・認定 : 8km/団体歩行・ヘルスロードNo.40
3. 集 合 : 大甕駅西口8:50
4. コー ス : 大甕駅西口→大甕神社→赤羽緑地公園→道の駅・おさかなセンター→久慈浜海岸→日立灯台→大甕駅東口
5. 解 散 : 大甕駅東口 12時20分頃

第217回 ひたちなか市_ひたち海浜公園ネモフィラウォーク(計画中)

1. 期 日 : 2024(令和6)年4月14日(日)
2. その他 : 詳細は次号以降

例会ウォークの問合せ先等

【問合せ先】事務局 菅原宛 TEL/FAX 029-274-7016

【持ち物】飲み物、帽子、手袋、ザック、雨具、マスク、健康保険証など
歩きやすい服装で



JWA・IWA・近隣他団体からの情報

近隣の他団体などの行事・大会を紹介します。参加時には、事前に下欄の各連絡先に連絡し、参加の可否等を確認し、マスク着用などを原則としてください。

期 日	行事名・主催団体	集 合	距離・認定など	見どころなど
2/1 (木)	大北川の白鳥に出会うウォーク	磯原駅東口	6km(IVV) HR(279,347)	大北川に飛来している白鳥に出会う
	高萩 W	9:20		
2/9 (金)	県民の森耐寒ウォーク	鳥獣センターP	10km(IVV) (新道紀行 108027)	日光連山の眺め、資料館の吊し籠
	太田 W	9:00		
2/10 (土)	南郷道(瓜連～常陸大宮)W	瓜連駅	10km(IVV)	歴史の道を歩こう
	水戸歩	8:00		
2/17 (土)	筑波山麓つくば道を歩く W	筑波総合体育館	10km(IVV) (500 選 08-05) (道紀行 108002)	500 選のつくば道の一部を歩く。酒造とワイナリーもトイレ休憩等で立ち寄る
	第五事	9:30		
2/25 (日)	めんたいパーク・磯前神社を巡る W	大洗町営第一P	7km/10km(IVV) HR(013) (道紀行 108022)	冬の海原、めんたいパークでのショッピング
	太田 W	9:00		
3/2 (土)	日立紅寒桜鑑賞街中散策 W	日立駅西口	8km(IVV) HR(035) (道紀行 108028)	詳細次号
	第五事	9:30		
3/5 (火)	観梅ウォーク(大心苑)W	高萩森林公園	8km(IVV)	詳細次号
	高萩 W	9:00		
3/5 (火)	涸沼ウォーク	涸沼自然公園	8km(IVV)	詳細次号
	太田 W	9:00		
3/9 (土)	第12回水戸観梅ウォーク	水戸駅南口	8km(IVV)	詳細次号
	水戸歩	8:00		
3/17 (日)	御前山ダムウォーク	御前山ダムP	7km(IVV)	詳細次号
	太田 W	9:00		
3/30 (土)	日立モノづくりの礎を訪ねて W	大甕駅	6km(IVV)	詳細次号
	水戸歩	8:50		

注) IWA の HP(<https://www.ibaraki-walking.jp/index.html>)で「IWA ニュース」を参照すれば、開催中止の有無等の最新情報を見ることが出来る場合もあります。

<各行事に関する連絡先>

団体名	会長・団体代表	電話
高萩ウォーキングクラブ(高萩 W)	増田 洋 masuda.takahagi@gmail.com	080-9351-0964
常陸太田ウォーキングクラブ(太田 W)	富田 里美 tomitadiy3103@khc.biglobe.ne.jp	080-8041-5820
水戸歩く会(水戸歩)	渡邊 昭知 nbam1221@gmail.com	029-285-1592
IWA 第五事業部(第五事)	渡辺 千春 qq4t344d@jewel.ocn.ne.jp	090-5333-5843

<編集後記>

事務局 菅原

今年の元日早々、石川県能登半島で最大震度7の地震がありお正月のお祝いどころでなくなりました。2日には日航機の事故と連続の災害に今年はどうなるのと不安の幕開けになりました。半月過ぎてもまだ避難所から動くこともできず不便な生活を強いられている皆様を思うと何をすればよいのか考えてしまいます。東日本大震災の時、家のことを捨て置き社会福祉協議会で朝から晩までボランティアの配置、作業にと奔走したのを思い出しました。遠い他県から車で駆け付けた方、本当にありがたいことでした。今度は私たちが手伝う番、遠くまで行くのはできないが何かしらできることはないか、そこで一人では微々たるものでも何人かで義援金を募って社会福祉協議会に届けてこようと思いました。

災害はいつ来るかわかりません。お互い助け合ってこの難局を乗り越えていってくださいと祈らずにはられない今年最初の願い事でした。